フェイズ IV／戦慄！昆虫パニック（1973）

PHASE IV

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　サスペンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　84分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

天体異変の影響で知性を持った蟻と科学者たちのコミュニケーションをとてつもないビジュアル・イメージと印象的な音楽（ツトム・ヤマシタも参加）で綴った傑作ＳＦ。

＜フェイズⅠ＞－奇妙な天体現象の影響か、種族間闘争の無くなった蟻が急激に増殖。生物学者と動物コミュニケーションの研究者は、調査のため砂漠に建てられたドーム型研究所へ赴く。＜フェイズⅡ＞－調査によって蟻たちが幾何学パターンを認識している事を突き止めるが、その頃、付近の一軒屋を蟻の群れが襲った。犠牲者の体内にまで侵食している蟻。偶然、生き延びた少女を助けた科学者たちはケミカル・ダストで蟻の掃討を図る。＜フェイズⅢ＞－全滅したかに見えた蟻は化学薬品にも適応した新たな種となりドームを襲う。ホワイト・ノイズで対抗する科学者。だが蟻たちは鏡塔を築き太陽光線の反射による熱攻撃に切り替えた。そしてドーム内に侵入してコンピュータを焼き、人間側はもはや敗北したも同然だった。少女は蟻に操られるように砂漠に消え、コミュニケーションを目指しながら最終的には否定してしまう生物学者は大量の蟻に喰いつくされる。少女を追って蟻塚の中に落ちた研究者は、蟻の意識に操られるまま少女と交わる。そして最終局面＜フェイズⅣ＞－二人の人間と蟻は共に地平を見据える。そこに新しい未来の姿があるかのように……。

ヒッチコック作品をはじめ数多くの名作のタイトル・デザインを手掛けたＳ・バスの長編監督デビュー作。Ｍ・サイモンのハードなシナリオを基に、蟻と人間の壮大な戦いを圧倒的な映像の威力で見せ、架空ドキュメンタリー「大自然の闘争／驚異の昆虫世界」でもその手腕を発揮したケン・ミドルハムの蟻の接写シーンもミクロなスペクタクルを提供している。決してＴＶ放映題が示すような生物パニック映画ではなく、故に劇場未公開（「蟻の軍団」なる邦題でラインナップに入っていた時期もある）となっているが、この音と映像の体験は未曾有の快感をもたらしてくれるはずだ。

【クレジット】

監督	ソウル・バス	Saul Bass	
製作	ポール・Ｂ・ラディン	Paul B. Radin	
脚本	メイヨ・サイモン	Mayo Simon	
撮影	ディック・ブッシュ	Dick Bush	
美術	ジョン・バリー	John Barry	
編集	ウィリー・ケンプレン	Willy Kemplen	
音楽	ブライアン・ガスコイン	Brian Gascoigne	
出演	ナイジェル・ダヴェンポート	Nigel Davenport	アーネスト・Ｄ・ホッブス博士
	リン・フレデリック	Lynne Frederick	ケンドラ・エルドリッジ
	マイケル・マーフィ	Michael Murphy	ジェームズ・Ｒ・レスコー
	アラン・ギフォード	Alan Gifford	ミスター・エルドリッジ
	ロバート・ヘンダーソン	Robert Henderson	クリート
	ヘレン・ホートン	Helen Horton	ミルドレッド・エルドリッジ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.